事務事業名		社会教育施設整備事業		所属部	吉田総合センター	所属課	市民サポート課	
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	市民サポートグループ	課長名	渡部 一雅	
	施策名	〈31〉地域文化の振興		担当者名	渡部 一雅	電話番号	0854-74-0211	
	目的対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。				
	基本事業	〈089〉地域文化の保存継承		会計	015002	款	01	
目的対象	市民	意図	地域文化を次世代に伝える。				大事業名	社会教育施設整備事業
				中事業名	01	中事業名	社会教育施設整備事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民、市外からの来館者	オープンエアミュージアムエリア及び和鋼生産たたら体験交流施設周辺を整備することにより、施設利用者がたたら製鉄の歴史・文化の理解を深める機会を確保する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (年度 ~) ☒ 期間限定複数年度 (R3 年度 ~ R5 年度)	・オープンエアミュージアム受電方式変更工事
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・R4年度からの繰越によるオープンエアミュージアム受電方式変更へ向けた工事。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) オープンエアミュージアムエリアにおいては、市有施設と民間所有施設が混在しており、設備の一部をエリア内で共同で使用している。共同使用を解消する整理を進めてきている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 菅谷たたら山内入館者数	人	4,676	6,972	8,793	
イ 吉田町郷土資料館入館者数	人	2,837	4,117	4,563	
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
・受電方式変更工事 2,420千円	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	21,400			
	その他	千円		1,676	2,420	
	一般財源	千円	2,638			
	事業費計	千円	24,038	1,676	2,420	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	オープンエアミュージアムエリアにおける、市有施設と民間所有施設が混在するが、施設・設備について共同使用を解消するため、電気供給環境については低圧化引工事を令和4年度から引き続き行い完了した。
② 事業実施するうえでの課題	・オープンエアミュージアムエリアは、市有施設と民間所有施設が混在しており、設備の一部をエリア内で共同で使用している。共同使用を解消する整理を進めつつ、市有施設については利用状況に即した設備環境としたうえで、維持管理を行う。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・エリア内の民間施設所有者と協議しながら、整理を進める。